

令和元年度第1回
高松市美術館協議会資料

美術館美術課

目 次

平成30年度事業報告

1	高松市美術館	
(1)	展覧会・貸館	2
(2)	講演会・講座等	6
(3)	芸術的催し物	12
(4)	施設の提供	13
(5)	美術資料の収集	13
(6)	美術館ボランティアの活動	15
(7)	高松市美術館サポートショップ事業	15
2	高松市塩江美術館	
(1)	展覧会	15
(2)	美術講座等	16
(3)	その他事業	17
(4)	美術資料の収集	18

令和元年度事業計画

1	令和元度高松市立美術館の運営方針	20
2	高松市美術館	20
3	高松市塩江美術館	23
4	令和元年度予算	24

平成30年度事業報告

平成30年度事業報告

1 高松市美術館

高松市美術館の利用者数 111,045 人

(1) 展覧会・貸館

美術館主催展として特別展及び常設展を開催するとともに、貸館として一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリーを美術団体・個人や小グループ等の利用に供した。

◎ 展覧会

開催展数：57展（貸館を含む）

開催延日数：725日間

入場者数：89,694人（1日平均 123.7人）

ア 特別展

開催展数：5展 開催日数：186日間 入場者数：22,950人（1日平均 123.4人）

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
京の美人画 100年の系譜	4/21(土) ～6/3(日)	38日	7,024	京都市美術館が誇るコレクションの中から「美人画」に着目した展覧会。美人画は明治以降、美術の衷心的な主題として花開くとともに、変動する社会の中で多様化していった。本展では、上村松園や土田麦僊、菊池契月らの作品約70点を通して、明治・大正・昭和に至る女性像の様々な表現と変遷を紹介した。
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.07「つながりかえる夏」	7/27(金) ～9/2(日)	33日	4,981	年に一度の現代アートグループ展として2009年よりスタートした本展は、開館30周年をうけ「開かれた美術館」をテーマに、世代を超えた幅広い層にアクセスしてもらえるよう4人のゲスト作家（下道基行、山城大督、藤 浩志、千葉尚実）に参加いただき、教育普及や障がい者支援におけるアートの役割など、様々な事象や社会問題について来場者に問いかける内容として開催した。
音丸耕堂展 華麗なる彫漆世界	9/15(土) ～10/21(日)	32日	4,220	音丸耕堂（1898-1997）は1955年に「彫漆」技法で重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された讃岐漆芸を代表する漆芸家。豊かな色彩表現と緻密な彫漆技法が特徴で、本展ではその初期から最晩年までの作品約60点を展示した。

起点としての 80年代	11/3(土・祝) ～12/16(日)	38日	2,603	現代のアートシーンの源流となっている 1980 年代の日本の現代美術を多角的に紹介した。当館のコレクションを核としつつ、80年代美術批評で名を馳せた当館館長・篠原資明をアドバイザーに、日本の現代美術館のトップランナーである金沢 21 世紀美術館を中心にした共同企画。
やなぎみわ展 神話機械	平成 31 年 2/2(土) ～3/24(日) ただし、内覧会を 2/1(金)に開催	45日	4,122 (内覧会 140人を含む)	近年美術と演劇、その両極を往還する美術家・やなぎみわ(1967～)。本展は、旧作《マイ・グランドマザーズ》シリーズをはじめ、進行中の新作写真やモバイル・シアター・マシンを携えた、やなぎの約 10 年ぶりの個展となった。高松で立ち上がり、前橋、福島、神奈川、静岡へ巡回。
合計		186日	22,950	

イ 開館 30 周年記念イベント

イベント名	開催日 場所等	参加者数 (人)	内容
三輪眞弘による高松市美術館開館 30 周年祝賀演奏会 「愛の讃歌」	7/14(土) 1階エントランスホール	117	日本の現代音楽界を代表する作曲家・三輪眞弘氏が、美術館開館 30 周年を寿ぐコンサートをプロデュース。ナガレバチ周りの特設舞台で「ガムランアンサンブルのための「愛の讃歌」」が披露されたほか、新曲サヌカイトによる「石器人たちによる、モノリス礼賛／子音廻し」が世界初演された。
高松丸亀町商店街振興組合連携事業 「かえっこフェスティバル」	7/15(日) ～8/11(土) 1階エントランスホール・高松丸亀町商店街	1,200	特別展「高松コンテンポラリーアート・アニエール vol.07 つながりかえる夏」出品作家・藤浩志氏が発案した「かえっこ」を商店街との連携により、エントランスホール等で開催した。7/15～8/11 商店街にてポイント交換券配布、8/11 美術館エントランスホールにておもちゃ交換など。
メッセージアート	8/4(土) 1階エントランスホール	101	開館 30 周年を記念してお祝いメッセージを来館者に書いていただいた。
アーティスト×市長×館長トークショー 「つながり・つなげる美術館を目指して」	8/11(土) 1階講堂	96	特別展「高松コンテンポラリーアート・アニエール vol.07 つながりかえる夏」出品作家の藤浩志氏と創造都市を推進する高松市長大西秀人、当館館長篠原資明のトークショーにより、未来の美術館像が互いに交わされた。

アニメーション上映 「井上涼 歌う美術 館」	9/29(土)～ 10/8(月・祝) 2階展示室	1,337	テレビ番組『びじゅチューン!』をきっかけに、子どもから大人まで幅広い人気を集めるアニメーション作家・井上涼氏の作品を上映。また、9/29のワークショップ「井上涼とぬりえアニメをつくろう!」で制作したアニメーションも展示。
ワークショップ 「井上涼とぬりえア ニメをつくろう!」	9/29(土) 1階講堂	24	アニメーション作家・井上涼氏を講師に、アニメーションを制作するワークショップを行った。
コンサート 「秋のお楽しみコン サート in 高松」	10/6(土) 2階展示室	357	アニメーション作家の井上涼氏による歌と映像のコンサートを行った。
高松丸亀町商店街振 興組合連携事業 「ハロウィンと芸術 士と美術館! ハロウ イン・ダンス&ウォ ークショー」	10/28(日) 1階エントラ ンスホール	600	高松市が推進する「芸術士」との協働により、商店街で賑わうハロウィン祭りとの連動したイベントを開催。ダンサー(芸術士)のカタチサト氏とのダンス、仮装してエントランスホールに設置したランウェイを歩く等のほか、当館職員による仮面づくりワークショップを実施。また、自由に使える仮装コーナー、フォトスポットを設置した。
原田マハ トークショー 「アートでなければな んでもない80'sア ートの覚醒」	11/3(土・祝) 1階講堂	170	アート小説というジャンルを切り開いた、ベストセラー作家の原田マハ氏に、自身の体験を軸に80年代美術の魅力について語っていただいた。
「収藏品図録V」刊 行	3/31(日)	—	平成20年度以降に購入した作品や過去図録に未収録作品等を掲載し、国内外で評価の高い当館コレクションを「本」という媒体で普及するため作成した。
合計		4,002	

ウ 常設展

開催展数：4展 開催日数：290日間 入場者数：17,153人(1日平均 59.1人)

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第1期	4/10(火) ～6/24(日)	66日	3,812	常設1 かわる、かたち 常設2 素地で楽しむ漆
第2期	6/30(土)～ 9/24(月・祝)	75日	5,098	常設1 181枚の記憶—高松市美術館特別 展の歩み— 常設2 和とモダン—金工家・北原千鹿—
第3期	9/29(土)～ 12/24(月・祝)	75日	4,063	常設1 1990年代以降の日本現代美術 常設2 讃岐漆芸 その始まりから現代 まで

第4期	H31年 1/5(土) ～3/31(日)	74日	4,180	常設1 中学生キュレーター企画「視点 を変えてみる」 常設2 日本工芸会と香川の作家たち ※中学生キュレーターは公募したメン バー6名による企画。計4回のレク チャー・ミーティングを開催。 ※3/16～3/31の期間は、常設展示室1 において「第36回日本伝統漆芸展」 を開催。(1,291人)
合計		290日	17,153	

エ 貸館

(ア) 一般展示室・企画展示室

開催展数 15 展 開催日数 69 日間 入場者数 24,238 人 (1日平均 351.3人)

展覧会名	会期	日数	入場者数 (人)	展覧会の内容
第10回一榮会書展 (一般・企画展示室)	6/8～6/10	3日	651	同会会員の書の作品
第77回創元展香川巡回展 (一般・企画展示室)	6/12～6/17	6日	1,362	同会会員の油彩画等の作品
独立美術四国会展 (一般展示室)	7/3～7/8	6日	558	同会会員の絵画の作品
第23回視友展 (一般・企画展示室)	7/10～7/15	6日	1,754	同会会員の書の作品
第45回毎日書道学会展 (一般・企画展示室)	9/7～9/9	3日	774	同会会員の書の作品
第48回高校書道教員作品展 (一般展示室)	9/14～9/17	4日	449	高校教員の書の作品等
日本風景写真協会創立15 周年記念選抜展 (一般展示室)	10/10～10/14	5日	709	同会会員の写真作品
第31回日工会工芸美術四 国会展 (一般展示室)	10/16～10/21	6日	814	同会会員の工芸作品
第45回高松市民美術展 (公募) (企画展示室)	10/25～10/28	4日	1,546	各会の会員の作品
創立40周年記念高松工芸 高校美術科展 (一般展示室)	12/21～12/27	6日	1,155	同高校の生徒の美術作品
第53回日本墨彩画院展 (企画展示室)	12/21～12/26	4日	731	同会会員の墨彩画作品
平成30年度高松市教育文 化祭展覧会 (一般展示室)	1/11～1/14	4日	6,521	市内小・中学校児童、生徒の 作品

第 15 回香川県小・中学校 総合文化祭展覧会 (企画展示室)	1/11～1/14	4 日	5,984	県内小・中学校児童、生徒の 作品
第 35 回香川県高等学校総 合文化祭展覧会美術工芸 展 (一般展示室)	1/17～1/20	4 日	697	県内高校生の美術・工芸作品 展示
第 35 回香川県高等学校総 合文化祭展覧会書道展 (企画展示室)	1/17～1/20	4 日	533	県内高校生の書の作品展示
合計		69 日	24,238	

(イ) 市民ギャラリー

開催展数 33 展 開催日数 181 日間 入場者数 21,351 人 (1 日平均 118.0 人)

(2) 講演会・講座等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催した。また、小学生を対象とした「子どものアトリエ」や各種ワークショップ等を開催した。

ア 記念講演会等

開催日	講師・出演者	内容	参加者数 (人)
4/21(土)	中谷至宏 (京都市美術館学芸員)	記念講演会 1 「近代京都の美人と「美人画」	60
5/20(日)	森山知己 (日本画家)	記念講演会 2 「美人画で見つける日本画の話」	80
7/28(土)	下道基行、千葉尚実、山城大督 (特別展出品作家)	アーティストトーク	48
9/15(土)	北岡省三 (漆芸家)	記念講演会 1 「弟子たちからみた音丸耕堂」	90
10/7(日)	松本達弥 (漆芸家)	記念講演会 2 「音丸耕堂作品の修復報告と文 化財修復の重要性について」	50
3/9(土)	やなぎみわ (特別展出品作家)	トークショー	125
参加延べ人数			453

イ 館長講座「まぶさび教室」

開催日	講師	テーマ	内容	参加者数 (人)
5/12(土)	篠原資明 (当館館長)	シーズン4 「日本美術は 動く」	仏さんはフィギュアか?	50
6/2(土)			調度いいインスタレーション	37
7/7(土)			縦にも横にも巻けます	50
9/1(土)			旅のお供に	56
10/6(土)			世界を駆け巡るカワイイ	40
11/10(土)		シーズン5 「着た・見た・ 考えた」	アートはヤワコい	40
12/1(土)			超少女たち	40
1/12(土)			ゴルティエとマドンナ	40
2/9(土)			黒の衝撃	34
3/2(土)			二つのポストモダン	34
参加延べ人数				421

ウ ギャラリートーク

(ア) 特別展

展覧会名	担当者	開催回数 (回)	参加者数 (人)
京の美人画 100年の系譜	担当学芸員	2	91
高松コンテンポラリーアート・ アニエール vol.07「つながりかえる夏」	担当学芸員	2	33
音丸耕堂展 華麗なる彫漆世界	担当学芸員	1	18
起点としての80年代	担当学芸員	1	21
やなぎみわ展 神話機械	担当学芸員	1	42
参加延べ人数		7	205(内数)

(イ) 常設展

展覧会名	開催日	担当者	参加者数 (人)
常設1期	6/9(土)	担当学芸員	10
常設2期	9/1(土)	担当学芸員	21
常設3期	12/1(土)	担当学芸員	20
常設4期	3/2(土)	担当学芸員、中学生キュレーター6人	30
第36回 日本伝統漆芸展	3/16(土)	北岡省三(漆芸家)	23
	3/30(日)	佐々木正博(漆芸家)	12
参加延べ人数			116(内数)

エ ワークショップ

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数 (人)
5/20(日)	森山知己 (日本画家)	「日本画ワークショップ」日本画の装飾性と材料	小学4年生以上	3階講座室	14
8/25(土)	青木陵子 (常設展出品作家)	「観察する日」	未就学児以上	3階講座室	9
9/2(日)	山城大督 (特別展出品作家)	「感受性のワークショップ-びじゅつを体でたのしもう！」	3歳～小学2年生とその保護者	3階講座室	30
10/21(日)	平川めぐみ (衣装デザイナー)	「ハロウィンの衣装を作ろう！」	未就学児～高校生	3階講座室	13
11/25(日)	石川直樹 (写真家)	「地球冒険トーク」	小学3年生～6年生	1階講堂	15
12/1(土)	杉山知子 (特別展出品作家)	「TOTOMOMO+work=shop」	不問	中2階ロビー	50
3/10(日)	やなぎみわ (特別展出品作家)	「機械と朗読」	中学生以上	1階講堂	15
3/16(土)	香川高等専門学校 高松キャンパス機械システム研究部	「ロボット教室」	小学生以下	1階エントランスホール	150
3/17(日)	佐竹久美 (革職人)	「手縫いで作る革製のコインケース」	中学生～大人	3階講座室	15
3/31(日)	YCAM (山口情報芸術センター)職員	「パスタ建築ワークショップ」	小学4年生～大人	中2階ロビー	24
参加延べ人数					335

オ イベント（公開制作・パフォーマンス）

開催日	講師	内容	場所	参加者数(人)
11/3(土・祝)	中原浩大 (特別展出品作家)	公開制作	1階エントランスホール	52
11/9(金)、 10(土)	日比野克彦 (特別展出品作家)	《J-TRIP 茶室》公開制作	1階エントランスホール	230
11/11(日)	中條晴之 (中條文化振興財団)	高松工芸ウィーク共催事業《J-TRIP 茶室》完成記念茶会	1階エントランスホール	40
2/2(土)、 3(日)	構成・演出：やなぎみわ、出演：高山のえみ、音楽：内橋和久	ライブパフォーマンス「MM」	2階展示室	216
参加延べ人数				538

カ 子どものアトリエ

開催日	講師	テーマ	対象	場所	参加者数(人)
7/21(土)	y 工房さとうゆうじ・ゆき	夏休み！美術館ワークショップ 「瀬戸の砂で海を描こう」	小学生 ～中学生	3階講座室	37
7/22(日)	千葉尚実(特別展出品作家)	夏休み！美術館ワークショップ 「おみく神社を作ろう」	小学生 ～中学生	3階講座室	28
1/20(日)	太田絵美子(彫刻家・芸術士)	飾れる☆ひもひもカラージュをつくろう！	不問	3階講座室	8
3/3(日)	うにのれおな(イラストレーター)	クレヨン☆スクラッチで描こう	5歳 ～小学生	3階講座室	12
参加延べ人数					85

キ アートで遊ぼう！

開催日	講師	内容	場所	参加者数(人)	
前期	4/28(土)	当館学芸員ほか	京の美人画 100年の系譜	中2階 こども+(プラス)	6
	5/19(土)	当館学芸員ほか	「京の美人画 100年の系譜」関連企画 特別鑑賞会「にほんがのせかい」	2階 展示室	3
	6/2(土)	当館学芸員ほか	第1期常設展	中2階 こども+(プラス)	2

後期	10/6(土)	当館学芸員ほか	音丸耕堂展	中2階 こども+(プラス)	2
参加延べ人数					13

ク ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、リニューアルにより中2階に新設された「こども+(プラス)(こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催。

毎週木・土曜日 12:00~16:00 延べ1,765人参加

内容
ひも通しであそぼう！/折染め体験をしよう
くじびき！つくるんアート
おばけに大変身！ハロウィンのお面をつくろう！/ビー玉ころころアート！
ビリビリ！段ボールアート！/ぺたぺた♪ねんどであそぼう！
つるし飾りをつくろう！

ケ 出前講座

開催日	講師	内容	開催場所	参加者数 (人)
6/16(土)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	林コミュニティーセンター	25
6/19(火)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	中田井いきいきサロン	11
8/21(火)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	老人介護支援センターな でしこ香川	10
8/22(水)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	屋島放課後児童クラブ	90
8/31(金)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	おいでまい屋島中	15
11/14(水)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	高松市社会福祉協議会	50
12/13(木)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	おいでまい屋島西	8
1/27(日)	当館学芸員ほか	アートで遊ぼう！	かがわ総合リハビリテー ションセンター	8
参加延べ人数				217

コ 美術館学習等（延べ1,805人）

サンクリスタル学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

サンクリスタル学習参加校のうちで、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ（サンクリスタル高松－美術館間の交通費を負担）、展覧会の団体鑑賞や施設見学、アートゲームなどの活動を行った。6月26日から2月21日まで、参加校：9小学校 延べ人数：639人（引率者を含む）

また、サンクリスタル学習以外の美術館学習は、参加校35校、延べ1,166人であった。

サ 学校との連携事業

開催日	出席者	内容	開催場所	参加者数 (人)
7 /20(金)、 21(土)、 22(日)、 23(月)	高松工芸高等学校 25人、 附属高松中学校 8人、 紫雲中学校 5人、 下笠居中学校 10人、 龍雲中学校 22人、 教員 5人、一般 6人	「藤浩志 作品《1億5000万年前から受け継がれる》展示ワークショップ」 藤浩志とともに、プラスチック製のおもちゃを接着、並べるなどし、作品を完成させた。	2階 展示室	延べ106
11/9(金)、 10(土)	高松工芸高校 1人	特別展「起点としての80年代」 関連イベント日比野克彦《J-TRIP 茶室》公開制作においてアシスタントをした。	1階 エントランスホール	1
参加延べ人数				107

シ 美術館の日

「美術館の日」（8月第1土曜日8月4日）に、展覧会の観覧料を無料としたほか、「ふらっとアート」など、市民が気軽に美術館を訪れて楽しめる催しを開催した。

特別展観覧者810人、展示室での鑑賞を促す鑑賞カード利用者72人、ふらっとアート参加者99人、メッセージアート参加者101人などの来館者（全て内数）があった。

ス 博物館実習・インターンシップ・職場体験等（延べ211人）

博物館実習の実施については、京都精華大学ほか4大学から博物館実習生9名を受け入れた（7/31～8/5）。インターンシップ実習生4名（8/15～8/19）、香川県立高松工芸高校インターンシップ5名（7/4～7/6、7/9）、香川県立三木高校インターンシップ1名（7/29、8/4、8/11）、高松短期大学の学生ボランティア延べ31名（10月～12月）をそれぞれ受け入れた。中学生の職場体験としては、高松市立龍雲中学校ほか11校から延べ40名の中学生を受け入れた。（9月～11月）

また、展示パートナー81人、「かえっこフェスティバル」のボランティア40人の参加があった。

セ 美術館友の会イベント

内容	開催日	行事名	講師・出演者等	関連する展覧会	参加者数(人)
友の会 スペシャルイベント	5/6 (日)	お茶会「ほっと茶の会(ちゃのえ)」	中條晴之 (中條文化振興財団)	京の美人画 100 年の系譜	47
	8/25 (土)	「文字で遊ぼう！」ワークショップ	千葉尚実 (特別展出品作家)	高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.07 つながりかえる夏	8
	9/22 (土)	「菓子木型で作る和三盆干菓子」ワークショップ	上原あゆみ (菓子木型体験教室「豆花」)	音丸耕堂展 華麗なる彫漆世界	14
友の会 美術鑑賞旅行	10/17 (水)	大阪アート紀行(あべのハルカス美術館、大阪市立東洋陶磁美術館)			31
	3/3 (日)	高知アート紀行(高知城歴史博物館、高知県立美術館)			23
参加延べ人数					123

(3) 芸術的催し物

ア ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサート等を開催した。

内容	開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧会	入場者数(人)
ミニ コンサ ート	4/28(土)	美人画と和楽器の調べ	松下雄介 篠田哲篠	京の美人画 100 年の系譜	163
	8/4(土)	Midsummer Daydream ～真夏の昼の夢～	香川大学ウィン ド・アンサンブ ル	高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.07 「つながりかえる夏」	121
	10/6(土)	Un tableau de laque japonais ～一枚の漆絵から～	香川大学	音丸耕堂展 華麗なる彫漆世界	94
	12/8(土)	80 年代ヒット曲	藤田哲志 藤田亜子 大山まゆみ	起点としての 80 年代	94
	2/23(土)	Five Women Musicians	西浦弘美 中村怜子 高橋愛美 眞砂美輪 大山まゆみ	やなぎみわ展 神話機械	121
参加延べ人数					593

イ 美術館友の会との共催によるエントランスホール催し

内容	開催日	行事名	主催	入場者数(人)
友の会 ふれあい コンサート	7/6(金)	ふれあいコンサート「よんでんアンサンブルコンサート」	高松市美術館 友の会	117
参加延べ人数				117

(4) 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、美術図書コーナーを一般利用者に開放した。(※有人開室日のみ)

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	73回	1,592人
講座室	631回	8,721人
美術図書コーナー	263日	4,255人(※)

(5) 美術資料の収集

ア 収集の方針

収集対象を香川の美術と戦後の美術に大きく分け、香川の美術では伝統的な漆工と金工に重点を置いて収集し、戦後の美術としては、油彩画と彫刻を収集することとし、国内作家については、1945年以降の現代美術に的を絞り、外国作家は日本の戦後美術史の流れに多大な影響を与えた20世紀初頭から現代に至る作品を版画で系統的に収集する。

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努める。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集する。

(美術品)

(単位：点)

区分	洋画	日本画	彫刻	工芸	書	計	
平成30年度 購入	6	—	2	2	—	10	
平成30年度 寄贈	4	—	2	3	—	9	
平成30年度 合計	10	—	4	5	—	19	
累計	790	46	260	530	16	1,642	
内訳	購入	640	24	229	394	12	1,299
	寄贈	150	22	31	136	4	343

(図書)

(単位：冊)

区分	購入	寄贈	除籍	計	累計
美術図書	96	329	—	425	32,188
展覧会図録	5	493	—	498	18,649
合計	101	822	—	923	50,837

■新規収蔵作品

区分	種別	作品名(制作年)	作家名
購入	平面(油彩)	揺れる島(2011)	鴻池朋子
		皮絵 オオカミ(2015)	鴻池朋子
	平面(素描)	根 支持(1986)	松井智恵
		根 水盤(1986)	松井智恵
	平面(油彩)	TYPEWRITER(1982)	日比野克彦
	平面(映像)	津波石(2015-)	下道基行
	立体(彫刻)	Toys Saurus 1480R17 (2017)	藤 浩志
		'88-12、'89-6 より(1988、89、2018)	今村 源
	工芸(漆芸)	紫陽花之圖 彫漆手筥(1940頃)	谷澤不二松
	立体(金工)	浮上彫松竹梅文銀小器(1946-1950頃)	北原千鹿
寄贈	平面(油彩)	J-TRIP 茶室(2018)	日比野克彦
		り-45(1995)	吉澤美香
	平面(素描)	ぬ-9(1996)	吉澤美香
		ぬ-31(1997)	吉澤美香
	立体(彫刻)	Toys Saurus 6100R09 -Last Head(2009)	藤 浩志
		Anger Dog 980B18(2018)	藤 浩志
	工芸(漆芸)	蒔絵香盒	辻 照二
		蒔醬 曙 平棗	磯井正美
		蒔醬 棗	磯井正美

(6) 美術館ボランティアの活動

ア 美術館ボランティア

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアc i v i (シヴィ)を設置し、平成11年度から活動を行っている(30年度登録者数17人)。30年度は、特別展のギャラリートークのほか、ワークショップのアシスタントなどの活動を行った。

イ ギャラリートーク

特別展	担当者	開催回数 (回)	参加者数 (人)
京の美人画 100年の系譜	美術館ボランティア	10	356
高松コンテンポラリーアート・ アニュアル vol.08 「つながりか える夏」	美術館ボランティア	7	107
音丸耕堂展 華麗なる彫漆世界	美術館ボランティア	9	299
起点としての80年代	美術館ボランティア	8	93
やなぎみわ展 神話機械	美術館ボランティア	10	175
参加延べ人数		44	1,030(内数)

(7) 高松市美術館サポートショップ事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗(134店舗)で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を実施した。

また、平成25年度からは、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入している。

2 高松市塩江美術館

高松市塩江美術館の利用者数 5,095人

美術館主催事業として企画展及び常設展を開催するとともに、企画展示室・ホールを貸館として個展の利用に供した。

平成30年8月13日から平成31年3月31日までの約7か月間、施設設備等改修工事のため休館した。

(1) 展覧会

ア 開催展数：4展(内訳/企画3展・常設1展)

イ 開催延日数：205日間

ウ 入場者延数：4,616人(1日平均22.5人)

エ 主催展一覧

(ア) 企画展

開催展数：3展 開催日数：94日間 入場者数：2,128人(1日平均22.6人)

展覧会名		会期	日数	入場者数	展覧会の内容
1	大地の贈り物展	4/3(火) ～5/6(日)	30日	570人	植物の持つ生命力や儚さ、花の形、色など様々な植物の魅力を暖かみのある木版画で表現した作品約37点を紹介。
2	富本七絵展 －情景の意志－	5/26(土) ～7/1(日)	32日	845人	自然の風景をモチーフとして、風景の中の木々や草花から溢れる生命の循環を鮮やかな色彩で表現した作品約22点を紹介。
3	S t o r y －これまでそしてこれから－	7/7(土) ～8/12(日)	32日	713人	開館24年を迎えて改修工事前に、開館以来300展を越える展覧会をとおして館の歩みを振り返る収蔵作品やリーフレット等を展示して紹介。

(イ) 常設展 (1期)

開催日数：111日間 入場者数：2,488人 (1日平均22.4人)

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間3回の入れ替えで展示する。

展覧会名		会期	日数	入場者数	展覧会の内容
平成29年度 第Ⅲ期 青と黒、ときどき赤 *		12/23(土) ～4/15(日)	13日 *	235人	館コレクションの中から、単色のみで表現された作品や少ない色数で表現された作品に注目した20点を紹介。
平成30年度 第Ⅰ期 花と海－移ろいゆく表情－		4/21(土) ～8/12(日)	98日	2,253人	画家たちが描く花や海の作品から、移りゆく季節や自然の美しさや表情を楽しんでいただきます。23点を紹介。

*30年度開催分

(2) 美術講座等

平成30年度では、陶芸教室、風鈴づくり教室、ワークショップ等の講座を開催した。

ア ワークショップ等

タイトル	開催日	講師	内容	参加者数
フラワーアート in 塩江 2018	4/27(金)	美術館 職員	チューリップの花びらを使って作品を共同制作し、美術館庭園に展示	27人
つくえの上にこいのぼり	4/29(日)	美術館 職員	楽焼粘土を使用して卓上において飾れるオリジナルのこいのぼりを制作	5人

木の気持ち、季節の気持ち ー水彩で描こうー	6/24(日)	富本七絵	水彩絵の具を使って、カラフルで不思議な風景画を描きます。	18人
金継ぎ体験ワークショップ	8/12(日)、 19(日) 両日 10:00～ 12:00	浅野 絵莉	日本古来の技法である「金継ぎ」を使って欠けた器の修復を体験(2日間連続講座)	延べ 26人

イ 陶芸教室

タイトル	開催月日	講師	内容	受講者数
風鈴づくり教室	7/15(日)・ 16(月) 両日 10:00 ～12:00	貴志 勉 (陶芸家)	陶土を使いオリジナルの風鈴制作。	延べ 40人
陶芸教室	5/12(土)・ 19(土)・26(土)・ 6/2(土)・9(土)・ 23(土) 全日程 10:00 ～12:30	田淵 太郎 (陶芸家)	全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作(6日間連続講座)	延べ 85人

ウ 芸術的催し物

コンサートなど他分野におけるアートイベントを開催。

タイトル	開催日	料金	内容	入場者数
アコースティック コンサート	7/29(日) 18:30～	500円	地元で活動しているカントリーミュージックのデュオの演奏を開催	※台風接近のため中止

(3) その他事業

ア 貸館事業

企画展示室・ホールを一般の方々に貸出

場所	行事名	会期	入場者数	内容
企画展示室	戸田由美子 作品展 INSPIRING	5/12(土)～5/20(日) 搬入 5/11・搬出 5/20 9日間(休館日除く)	267人	高松市在住の戸田由美子による人物の写真展。入場料無料。

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

5月19日(土)博物館実習生の施設見学概要説明(四国学院大学) 11名

ウ 美術館の日 【8月4日(土)】

高松市美術館が、昭和63年8月6日に開館したことに由来。平成21年度から8月の第1土曜日を『美術館の日』と定め、美術館の観覧料免除や親子で楽しめるイベントなどを実施して、市

民の皆様が美術館で一日有意義に過ごしていただけることを趣旨として開催。

(ア) 入館者数及び参加者 212 人 (内数)

(イ) 無料ワークショップ (子供から大人まで対象)

行事名	内容
ストリングアート	針金と糸を使って、コースターや壁飾りを制作。
手形足形でアートしよう！	手や指・足に絵の具をつけて、形を取りそこから考えているんなものに変化させて作品を制作。

(4) 美術資料の収集

ア 収集の方針

(ア) 香川県出身で県内外にゆかりのある作家の作品

(イ) 塩江にゆかりのある作家の作品

(ウ) 塩江に関する資料等

イ 美術資料等の収集

美術品の取得方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入・寄贈などにより美術品の収集に努める。

(単位：点)

区分		洋画等	日本画	彫刻	工芸	書	その他	計
平成 30 年度 取得作品	購入	—	—	—	—	—	—	—
	寄贈	—	—	—	—	—	—	—
累計		665	7	12	13	119	453	1,269
内訳	購入	46	—	6	7	—	1	60
	寄贈	619	7	6	6	119	452	1,209

※その他(写真・熊野俊一資料・藤澤東咳関連書籍・芸術祭作品)

令和元年度事業計画

令和元年度事業計画

1 令和元年度高松市立美術館の運営方針

「高松市立美術館運営方針」に基づき、「創造都市高松の文化芸術の拠点として、市民に必要とされ、かつ、市民を始め、国内外の人々に親しまれ創造性あふれる美術館」を目指し、「高松市の美術館としての独自性や創造性を生かしつつ効率的な運営」を進めていく。

＜高松市美術館＞

平成 28 年 3 月のリニューアルオープン以降、展覧会来館者数や貸館等の施設利用者数も増加しており、引き続き、内外の優れた美術作品の展覧会の充実、系統的な美術品の収集を進めるとともに、ワークショップや講座等、子どもたちが豊かな感性を育むことができる教育普及事業の充実に取り組んでいく。また、中心商店街に近接した都市型美術館という立地条件を生かし、地域との連携の強化により、まちづくりと一体となった取組を進め、都市機能の向上に寄与する美術館を目指していく。

＜高松市塩江美術館＞

昨年度に約 8 か月間の改修工事を終え、今年度は、開館 25 周年を迎えて、装いも新たに塩江温泉を背景にした山間の豊かな自然環境に立地する地域特性を生かした、芸術・文化を楽しむ空間作りを目指し、展覧会の充実や地域に根ざした取組を進めていく。

2 高松市美術館

(1) 展覧会・貸館

ア 特別展

展覧会名	会期	日数	内容
高松市美術館コレクション+ ギホウのヒミツ 0 JUN、鬼頭健吾、田淵太郎とともに	4/20(土) ～5/26(日)	33 日	特定のテーマのもと美術館コレクションとゲスト作家による作品を組み合わせで紹介する「高松市美術館コレクション+」。今回は「技法」に注目し、作品制作の際に用いられる多彩な技法を紹介し、日本の現代アートの魅力に迫ります。 ゲスト作家：0JUN、田淵太郎、鬼頭健吾
瀬戸内国際芸術祭 2019 参加展覧会 (tk14) 宮永愛子：漕法 <small>そうぼう</small>	7/17(水) ～9/1(日)	42 日	宮永愛子は、常温で昇華するナフタリンを素材に、変わりながらも存在し続ける世界をテーマとした作品を手がけるアーティストです。近年国際的にも大きな注目を集める彼女は瀬戸内国際芸術祭 2019 参加作家としても選出されています。四国初の本個展では、香川特産の叩くと音の出る「サヌカイト」を素材とした新作インスタレーションや代表的なシリーズなどにより、独自の世界に迫ります。
瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業 高松コンテンポラリー アート・アニュアル vol. 08 / 社会を解剖する	9/28(土) ～11/4(月)	33 日	独創性、創造性のある作家を発掘紹介する、年に一度開催の現代美術のグループ展第 9 回目。毎回テーマに沿った招待美術家による想像力あふれる作品を展示。アーティストトーク等イベントも開催し、新しい芸術表現を高松から発信します。

安野光雅 空想と風景 絵本原画の魅力	11/12(火)～12/22(日)	36日	独特のユーモアと想像力、繊細な画風で知られる、画家・安野光雅。現在も高い人気を誇るデビュー作『ふしぎなえ』をはじめとする絵本原画や旅先で描かれた日本、ヨーロッパの風景画など約140点を紹介します。
開校100年 きたれ、バウハウス —造形教育の基礎—	2/8(土)～3/22(日)	38日	2019年バウハウス開校100年を記念し開催される展覧会。斬新な芸術教育によりモダンデザインの豊かな水脈を切り拓いたバウハウスの全体像とその魅力を、クレー、カンディンスキーら錚々たる教授陣や当時の学生の作品をはじめ、ユニークな授業を鑑賞者自ら体験できるコーナーなど、多彩な内容により立体的に紹介します。
5 展覧会		182日	

イ 常設展

展覧会名	会期	日数	内容
第1期	4/9(火)～6/23(日)	67日	常設1 コレクション+ (プラス) ギホウのヒミツ版画編 常設2 コレクション+ (プラス) ギホウのヒミツ漆芸編
第2期	6/29(土)～9/23(日)	76日	常設1 Colors—いろいろないろ 常設2 現代工芸 真子実也を中心に
第3期	9/28(土)～12/22(日)	74日	常設1 [現代の美術] 私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある20世紀以降の世界の美術を順次展示。 常設2 [讃岐漆芸と金工] 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。
第4期	1/5(日)～3/29(日)	72日	※3/14～3/29の期間は、常設展示室1に置いて「第37回日本伝統漆芸展」を開催。
4 期		289日	

ウ 講演会等の開催

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やエントランス・ミニコンサートなどを開催する。

エ 貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

(2) 教育普及活動等

ア 美術講座

- (ア) ワークショップ
地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。
- (イ) 子どものアトリエ
美術作家による連続の美術講座を開催し、子どもたちに学校の図画工作の授業とはまた違った環境での美術体験を提供する。
- (ウ) こども+ (こどもアートスペース)
リニューアルオープンにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」を活用し、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラム「ふらっとアート」などを提供する。
- (エ) 館長講座「まぶさび教室」
館長による講座を前期・後期で各5回開催する。

イ 施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供する。

ウ 美術館学習

美術館展覧会の鑑賞教育等学校活動分野への積極的な活用を図るために、サンクリスタル学習及び子ども未来館学習参加校のうち希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

(3) 美術館の日

多くの市民が集い、親しみ、にぎわう美術館となるよう、8月第1土曜日(8月3日)を「美術館の日」とし、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。

(4) 美術資料の収集・公開

美術品取得方針に基づき、美術館に収蔵する美術品の収集に努める。また、美術館の二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集するとともに、高松市収蔵品情報システムの活用等によりこれら収蔵資料の積極的な公開に努める。

(5) 美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティア(c i v i l)によるギャラリートークを実施するとともに、子どものアトリエなどのワークショップの補助を行う。

(6) 高松市美術館サポートショップ事業

商店街等周辺店舗と連携し、会期中の特別展有料観覧券の半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができ、また、美術館との相互割引を行う「高松市美術館サポートショップ」事業を実施する。

(7) 自己評価システム

(公財)日本博物館協会の「博物館自己点検システム」を活用した美術館運営の自己評価について検討する。

3 高松市塩江美術館

(1) 展覧会

ア 企画展

展覧会名		会期	日数	展覧会の内容
1	美術館リフレッシュ オープン企画 中井弘二郎展 -feels through it-	4月2日(火) ～5月12日(日)	37日	美術館のリフレッシュオープンを記念して地元彫刻作家の作品を紹介。
2	開館25周年企画 学芸員が選ぶ 収蔵品ベストセレ クション展	5月18日(土) ～6月23日(日)	32日	開館25年を迎えてこれまでの収蔵品の中から学芸員によるベストセレクション作品を紹介
3	山口一郎展 トリとりどり	6月29日(土) ～8月4日(日)	32日	香川県坂出市在住の独創的で色鮮やかに大胆に描かれた絵画作品を紹介
4	塩江温泉鉄道 -風景と記憶-展	8月10日(土)～ 9月23日(月・祝)	39日	昭和初期、仏生山から塩江まで人々の足として稼働した鉄道の軌跡を地元の大学、高専学生等により研究した成果を紹介
5	かがわ・山なみ芸術祭2019 SHIONOE 連携企画展	9月27日(金) ～10月20日(日)	21日	香川県の山間部を開催地として NPO 法人かがわ・ものづくり学校が主宰する芸術祭との連携企画展
6	島村敏明展(仮)	11月12日(火) ～12月22日(日)	36日	岡山県在住で、絵具とその筆跡によるイメージから新しい絵画空間を生み出そうとして描かれた作品を紹介
7	コレクション展	1月4日(土) ～1月26日(日)	20日	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介

イ 常設展

熊野俊一作品や川島猛作品など収蔵品の中から、展示テーマを設け、年3回展示する。

展覧会名	会期	日数	展覧会の内容
第Ⅰ期 美術館収蔵25周年記念 熊野俊一—ふるさとへの贈り物—	4月2日(火)～ 8月12日(月・祝)	108日	塩江町出身の洋画家熊野氏からの300点余りの作品の寄贈を記念した展示
第Ⅱ期 香川の現代作家たち (仮)	8月20日(火) ～12月8日(日)	96日	所蔵品の中からテーマに沿った展示
第Ⅲ期 映るカタチ、隣りのイ ノチ (仮)	12月14日(土) ～4月5日(日)	104日	所蔵品の中からテーマに沿った展示

(2) 教育普及活動等

ア 教育普及活動等

陶芸教室、風鈴づくり教室に加えて、企画展に合わせたワークショップ等を開講する。

タイトル	開催日	講師	内容
風鈴づくり教室	7/14(日) 7/15(月・祝)	貴志勉 (陶芸家)	陶土を使ったオリジナルの風鈴を制作。
陶芸教室	9/21、9/28、 10/5、10/12、 10/19、11/2 各土曜日	田淵太郎 (陶芸家)	全6回の日程で受講者を募り、基礎コースと経験者コースに分かれて陶芸作品を制作。

イ 芸術的催し物

企画展に関連したコンサートや公演を開催する。

(3) その他

ア 貸館事業

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、企画展示室・ホールを提供する。

イ 博物館実習・インターンシップ・職場体験等

5月25日(土) 博物館実習生の施設見学概要説明(四国学院大学) 7名

ウ 美術館の日 【8月3日(土)】

多くの市民が美術館に親しみ、子供たちに豊かな心を育んでもらえるよう8月第1土曜日(8月3日)を美術館の日として、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを実施する。

4 令和元年度予算

(1) 歳入

(単位:千円)

区分			令和元年度	平成30年度	対前年比
使用料及び手数料	使用料	美術館展覧会等観覧料	33,235	3,388	94.8%
		美術館開館30周年記念事業展覧会等観覧料	0	31,662	
		美術館使用料	13,991	13,758	101.69%
	手数料	美術品等撮影許可手数料	28	28	100.0%
財産収入	財産運用収入	基金運用収入	1	3	33.3%
	財産売払収入	物品売払収入	1,458	2,469	59.1%
繰入金	基金繰入金	塩江美術館美術品等取得基金繰入金	500	0	—
諸収入	雑入	社会教育費収入	14,023	13,030	107.6%

市債	市債	美術館管理債	800	88,200	0.9%
計			64,036	152,538	42.0%

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	令和元年度	平成30年度	対前年比
美術館運営費	29,523	28,544	103.4%
美術館管理費	117,035	193,895	60.4%
展覧会費	69,857	8,834	86.1%
開館30周年記念事業費	0	72,326	
美術教育普及費	1,429	1,505	95.0%
美術資料収集費	12,316	11,488	107.2%
塩江美術館美術品等取得基金積立金	1	3	33.3%
計	230,161	316,595	72.7%